

実用数学技能検定(数学検定・算数検定)について

■検定概要

「実用数学技能検定」(後援＝文部科学省)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。

実用数学技能検定														
数学検定							算数検定						かず・かたち 検定	
1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	ゴールド スター	シルバー スター
大学 一般	高校 3年	高校 2年	高校 1年	中学校 3年	中学校 2年	中学校 1年	小学校 6年	小学校 5年	小学校 4年	小学校 3年	小学校 2年	小学校 1年	幼児	

■検定の活用事例

①入試における活用や単位認定

入試の際、実用数学技能検定を活用(「優遇」「評価」「参考程度」を含む)する学校が増えています。

●入試における活用

[高等専門学校・高等学校・中学校]	[大学・短大・専門学校]
全国 650 校以上	全国 390 校以上
【高校入試】高校入試における生徒の評価基準として、学科試験の成績だけではなく、中学在学中の実用数学技能検定の取得を活用する学校が増えています。入試時の点数加算から参考要素とするなど、それぞれの学校において、活用の内容はさまざまです。	【大学入試】大学入試において、受験者の総合的な人物評価の基準として実用数学技能検定の取得を活用する大学・短大が増えています。入試時の点数加算や出願条件、参考要素とするなど、それぞれの大学・短大において、活用の内容はさまざまです。

(2014年12月現在・当協会調べ)

●単位認定制度

[大学・高等専門学校・高等学校]
全国 260 校以上
一定の階級の実用数学技能検定取得者に対して特定の科目の単位取得を認める制度です。この制度を活用する学校が増えています。

(2014年12月現在・当協会調べ)

②高等学校卒業程度認定試験の「数学」科目免除

文部科学省が行う「高等学校卒業程度認定試験」(旧「大検」)の必須科目「数学」が試験免除になります(2級以上合格)。

③SPI試験との出題範囲の共通

中学生・高校生の間にはしっかりと数学力を身につけておくと、将来にわたってビジネスに役立てることができます(企業の採用資料として広く活用されている「SPI試験の非言語分野」と実用数学技能検定の出題範囲は3級では53%、準2級では74%が共通しています)。

④ジュニアマイスター顕彰制度

公益社団法人全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター顕彰制度」で点数化されています(3級以上合格)。